



2025年度 学外集中授業



《ゴルフ・キャンプ・馬術・スキー・スケート・マリン・スノーボード》のお知らせ

2025年度年度も、学外集中授業(学部間相互乗り入れ科目)が開講されます。選択科目のため、希望者のみの履修科目となります。「生涯スポーツ(夏季集中)・Ⅲ」は5コース、「生涯スポーツ(冬季集中)・Ⅳ」は5コースが開講されます。

そのうち、ゴルフ、キャンプベーシック(2コース)、スノーハイキング、スケート、マリンスポーツ、スノーボードについては**4月1日(火)【14時30分~】と2日(水)【10時~】(場所:和泉キャンパス体育館3階メインホール ※外履きを入れるビニル袋を持参すること)**に**対面でのガイダンスが行われます**(スキー:旭川・裏磐梯の対面ガイダンスの実施はありません)。ガイダンスは約1時間で**いずれかに出席すればかまいません**が、**開始時間に遅れると出席できません**。また、出席していなくても申込はできますが、**抽選になった場合は対面ガイダンス出席者が優先**となります。

対面ガイダンス出席の登録には、学生番号が必要となります。**新入生の皆さんは、学生証配付前のため、「学生証引換証」を印刷のうえ、持参**してください。

履修登録後は、特別な理由がない限り、参加を取りやめることはできません。

海外留学を考えている人は、対面ガイダンス時に担当教員に相談してください。また、学部設定の各種実習宿等の日程をよく確認してから申し込んでください。

ガイダンスを兼ねた事前授業の出席は、参加の必須条件となります。また、参加費用として、登録料、宿泊費、現地までの交通費などが必要です。

申込開始 2025年4月3日(木)を予定

申込結果発表 2025年4月5日(土) Oh-o! Meijiのお知らせにて通知

★申込みに関する詳細は、年度始めの案内を確認するようにしてください。

春学期(2025年9月中旬実施予定、事前授業は7月に実施予定)

1. ゴルフ ※1	定員 35名	費用	約43,000円
2. キャンプベーシック1期	定員 42名(うち政経学部21名)	費用	約22,000円
3. キャンプベーシック2期	定員 42名(うち政経学部21名)	費用	約22,000円
4. 馬術 ※2	定員 20名	費用	約45,000円
5. マリンスポーツ	定員 18名	費用	約55,000円

※1 ゴルフ参加条件: ラウンド経験者もしくは半期ゴルフ授業履修者のみ履修可

※2 馬術参加条件: 2年生以上

秋学期(2026年2月中・下旬実施予定、事前授業は10~12月に実施予定)

1. スキー:旭川	定員 50名	費用	約80,000円
2. スキー:裏磐梯	定員 40名	費用	約46,000円
3. スノーハイキング	定員 30名	費用	約55,000円
4. スケート	定員 40名	費用	約37,000円
5. スノーボード	定員 30名	費用	約68,000円

補足

- ・申込みを行う前に、Oh-o! Meijiにログインしたうえで、必ず各コースのシラバスを確認してください。

春学期

春1 ゴルフ	担当教員：後藤 光将(政治経済学部)
長野県佐久市の八ヶ岳連山の麓に位置する標高 1,100mの名門ゴルフクラブ(サニーカントリークラブ)で実施します。練習用コース(PAR23、1,852ヤード、6ホール)、300ヤードのドライビングレンジを利用します。宿泊施設はゴルフ場内に併設されていますので、集中的にゴルフを学ぶ環境で生活できます。ゴルフは、自然の変化を感じながら優雅に楽しむスポーツです。小さなホールに向かってボールを正確に運ぶ技術が要求されます。ドライバーからパットまで多くのクラブを使ってショットをします。ゴルフには、技術やルール以外にも服装やマナー、ラウンド方法なども重要です。普段の練習場とは異なる、自然のなかでのラウンド経験がゴルフの醍醐味です。本授業では、避暑地でリゾートスポーツ文化を感じながら、練習、講義で得た技術や知識を活かして、生涯スポーツとしての「ゴルフ」を理解・習得します。	
春2 キャンプベーシック1期	担当教員：高峰 修(政治経済学部)
春3 キャンプベーシック2期	担当教員：吉松 梓(経営学部)
この授業では、自然環境の中でテント泊と野外炊事をベースにした生活を送りながら、キャンプを楽しむための知識・技術・マナー、野外でのリスクマネジメントや環境への配慮、集団で生活するための組織運営や役割分担の方法について学びます。また、こうしたアウトドアライフを基礎にして、サイクリング、トレッキング、カヌー等のアウトドアスポーツを体験します。それによって、将来的に野外活動を安全に楽しむための基礎知識と態度、技術を身につけます。煩雑な都会での日常生活を離れ、自然の中でシンプルな生活を送ることで、自然や仲間、そして自分自身について新しい発見をする機会を得ることができます。	
春4 馬術	担当教員：長尾 進(国際日本学部)
茨城県茨城町の中島トニアシュタール乗馬クラブにおいて2泊3日で行う実技実習と、オンラインによる事前学修(8月上旬)と事後学修(9月中旬)とをセットにした集中授業です。実習では、同クラブ指導員のアシストのもと、馬体手入れや馬装の方法と、常歩(なみあし)、速歩(はやあし)、軽速歩(けいじはやあし)の乗馬各歩様を学びます。経験者(馬歩(かけあし))に挑戦することもできます。講義では、馬術競技の概要と、世界の馬事文化や和鞍(わくら、日本式馬術)の知識を学びます。皆さんは、なによりもまず、馬の大きさに驚くでしょう! それから馬の可愛さのとりこになり、またその賢さに舌を巻くことでしよう。動物と触れ合う機会の少なくなった昨今、貴重な体験のできる実習です。	
春5 マリンスポーツ	担当教員：武田 紘平(政治経済学部)
この実習では、海でシュノーケリングやスキューバダイビング、シーカヤック、遠泳を行う予定です。プールとは異なる環境でこれら活動に関する基本的知識・技術の習得と安全に実施する上での注意点の理解が主な目的です。実習場所の沖縄県渡嘉敷島近海は「ケラマブルー」と呼ばれており、ダイバーに人気があります。世界屈指の美しさで、運が良ければウミガメやクジラに会えるかもしれません。海に身を委ねサンゴ礁や色とりどりの魚など壮大な自然に触れてみたいという学生は、この授業を受講してはいかがでしょうか。	

秋学期

秋1 スキー：旭川	担当教員：田中 伸明(文学部)
スキーは生涯スポーツになり得ます!楽しいスポーツです。その楽しさは年齢を重ねても深みとともに続きます!ぜひこの機会にスキーを体験してください!本授業では、指導者資格を有する教員を中心とした指導スタッフによる技術指導となりますので、一度も滑ったことのない人から上級者の人まで、それぞれのレベルに応じた指導が行われ、それぞれのペースでスキルアップを目指します。また、級別テスト(通称バジテスト)といわれる全日本スキー連盟(SAJ)の検定を実施しますので、受検を希望する人は受検をすることができます。本授業は、良質なパウダースノーが期待できる北海道/旭川での開催です。	
秋2 スキー：裏磐梯	担当教員：水村 信二(文学部)
雪さえあればどんな所でも滑ってしまえるスキー技術の習得を目指します。雪質の良い裏磐梯グランデコスノーリゾートスキー場では、緩急のロングコースをふんだんに楽しめます。また、林間コースで深雪も楽しめる穴場的なスキー場です。初心者コースも充実していますので、初心者の受講を大歓迎します。この素敵なスキー場で、様々な雪面のコンディションに合わせたスキー技術・理論の修得を通し、生涯にわたってスキー文化を育むことができる基礎を学びましょう。また、露天温泉風呂付きリゾート型ホテルでの宿泊を通して、学部を超えた受講生間のコミュニケーションを図りますので、新たな友達づくりも期待できるでしょう。これからのリゾート型スキーを体験してみませんか?	
秋3 スノーハイキング	担当教員：多田 聡(法学部)
「テレマークスキー」という歩くスキーを使って行うスノーハイキングの実習です。雪の原生林を歩いたり、登ったり、滑り降りたりする移動技術、雪山キャンプ技術、野外での安全管理、そしてソリや雪だるまづくりなどの雪遊びまで、雪山を丸ごと楽しむために必要とされる技術の習得を目指します。また、実施場所である長野県戸隠高原は古くから厳しい自然の中で人々が暮らしてきた地域です。日本の冬の自然環境や雪国の文化について理解を深めることもできるでしょう。 ※状況によりスノーシュー、かんじきなど他の用具を使用してハイキングや雪上活動をする場合もあります。	
秋4 スケート	担当教員：後藤 光将(政治経済学部)
心地よいスピードを感じながら、身体全体を用いて意のままに氷上を滑走することは、他では得られない感覚です。寒い場所での体温調節は多くのエネルギーを消費させる有酸素運動であり、ダイエットにも効果的です。実習では、まず基礎スケータリングを習得します。集団で音楽に合わせて滑る“シンクロナイズドスケータリング”、氷上の格闘技“アイスホッケー”にも挑戦します。野辺山高原は長野県の東端に位置しており、高原野菜の産地で有名です。日本で一番キレイな星空が見える場所としても有名です。滑走練習の合間には、近隣の牧場を訪問して、雄大な自然を体験する機会もあります。氷上での様々な活動を体験しながら、普段の都会の生活では感じることのない、すばらしい発見があるはずです。	
秋5 スノーボード	担当教員：竹崎 一真(情報コミュニケーション学部)
1998年の長野五輪の正式種目に選ばれて以降、スノーボードはスノースポーツの人気種目となりました。そこに近年のエクストリームスポーツへの注目が加わり、ゲレンデにはスノーボードを抱える若者が多く集まるようになってきました。スノーボードは、若者たちをゲレンデへと誘い、スノースポーツの文化を豊かにする重要な種目となっているのです。しかしその一方で、ゲレンデでの事故やゲレンデ外での遭難、ゲレンデでのマナー違反などが後を絶たず、スノーボードを禁止するスキー場も出てきています。スノースポーツの文化を持続可能なものとするためにも、スノースポーツにおける安全やマナーを理解し、実践することは大切です。そのため本授業では、スノーボードの技術習得はもとより、ゲレンデや雪山でのマナーや安全、危機管理についてもゲレンデ内外で積極的に学びます。	